

31H 塩崎 紅里子    33H 柴田 奏琉    33H 武元 歌音  
 34H 大橋 広太郎    34H 中村 嶺心    36H 佐野 宏太郎

■課題

能登には、社会人口が移動するような環境が整っていない。

■解決策

自然豊かで住みやすい能登にインターネット環境を充実させることで、IT関連企業の移転、e-sports大会の開催による、社会人口の増加を目指す。

■現状（課題の背景）

現状①

能登地域の社会移動人口はすべて**減少傾向**。(図1)  
 石川県への移入者のうち能登への移入者は全体の**10.7%**。(図2)  
 ⇒ 能登に**魅力が少ない**から移入者が少ないのではないかと  
 移住する理由で最も多いものは“**仕事**”に関するもの。  
 能登には**魅力を感じる仕事が少ない**と予想できる。



図1 石川県の社会増減 出典※1

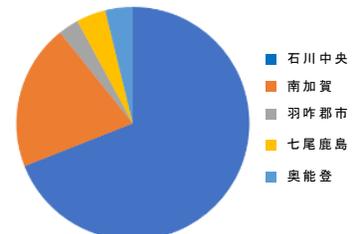


図2 石川県の地域別移入割合 出典※1

“**魅力を感じる仕事＝個人の専門スキルを發揮できる仕事**”と考える。

ここで、今後より需要が見込め、専門スキルを必要とする業種として**情報通信業**に着目する。

現状②

石川県の全企業のうち情報通信業の割合は**0.9%**。(図3)  
 能登に立地する情報通信企業は**全体の6%**。(図4)  
 ⇒ **情報通信企業は県全体で見ても少なく、**  
**能登に立地する情報通信企業も数少ない。**

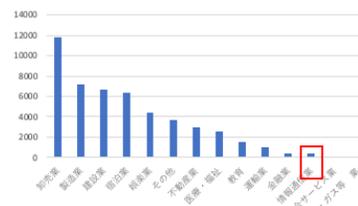


図3 石川県の業種別企業数 出典※2

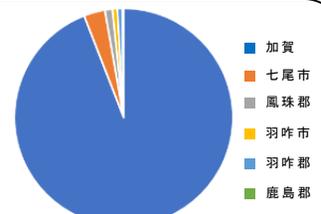


図4 情報通信企業の立地 出典※2

能登地区に情報通信企業を増やすことができれば、人口の社会増加が見込めるのではないかと？

■具体的内容

能登に情報産業のオフィスが集まる環境を作る。

インターネット環境の整備

現状

**10Gbps** 金沢市、野々市市、川北町  
**1Gbps** かほく市、中能登町、志賀町  
**200Mbps 以下** 他の提供エリア  
 →金沢ケーブルの対応エリアは奥能登に及んでいない  
 ★奥能登での開通及び高速回線エリアの拡大が必要



<https://www.kanazawacable.jp/>

■成功例

徳島県神山町

- 2004 NPO 法人グリーンバレー開設
- 2005 町全戸に光ファイバー網敷設
- 2010 株式会社 Sansan 開業
- 2012 株式会社ダンクソフト開業
- 株式会社ブリッジデザイン開業
- 株式会社ソノリテ開業
- 株式会社キネトスコープ開業
- ...
- ...
- 2023 高等専門学校開校予定
- ...

企業誘致、環境の整備を先導

2010年、神山町への流入人口が流出人口を8%上回る

2013年～、11社以上の情報系企業がオフィスを展開

2019年、神山町への流入人口が流出人口を27%上回る

■効果

能登で情報産業が盛んに！

高速ケーブル回線の導入により短時間で大容量の通信が可能に。  
 →デザイン、番組制作、IT関連企業の移転が見込める。  
 地元企業「金沢ケーブル」が回線を引くことで、金沢ケーブルの経済効果も上昇。

イベントの開催！

充実したインターネット環境を用いて e-sports 大会の開催。  
 →e-sports が発展していく中で、関係者の移住、関連企業の移転が見込める。  
 e-sports への観光客増加による経済効果も期待。

■参考文献

- (※1)「石川県の人口と世帯」石川県県民化スポーツ部
- (※2)「令和元年 石川県統計書 抜粋(事業所)」石川県県民化スポーツ部
- 「初の人口社会増加、相次ぐ視察—地方創生神山の奇跡はなぜ起きた」<https://cloud.watch.impress.co.jp/docs/case/700175.html>